

- 問1 5世紀、倭の五王が中国の南朝である「宋」へたびたび使者を送った目的として、当時の東アジア情勢を踏まえた説明として最も適切なものはどれか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 朝鮮半島における軍事的な指揮権や外交的な立場を、中国の皇帝に公認してもらうため。 | 2. 遣隋使の派遣に先立ち、中国の進んだ律令制度や仏教を日本に導入する許可を得るため。 | 3. 福岡県の志賀島で発見された「漢委奴国王」の金印を、宋の皇帝に返還するため。 | 4. 邪馬台国内での争いを鎮めるために、中国の強力な軍隊を日本国内へ招き入れるため。 |
|---|---|--|--|
- 問2 朝鮮半島から稲作が伝わった弥生時代の生活様式について述べた文章のうち、収穫した稲の保管方法に関する説明として正しいものはどれですか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 地面を掘り下げて床を作った竪穴住居の中に保管した。 | 2. 獲った獲物を燻製にするために、洞窟の奥深くに納めた。 | 3. 湿気を防ぎネズミなどの害を避けるために作られた高床倉庫に納めた。 | 4. 大きな石を組み合わせて作った石舞台古墳の中に保管した。 |
|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|
- 問3 古代の東アジアにおいて、倭（日本）などの周辺諸国の首長や国王が、中国の皇帝に使者を送り、貢物を捧げた外交形式を何と呼びますか。この形式において、使者は中国の皇帝からその地域の支配権を認められ、称号や金印を授かることで、自らの権威を高めようとしてしました。 (2024年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|-------|-------|
| 1. 民間貿易 | 2. 朝貢 | 3. 冊封 | 4. 通商 |
|---------|-------|-------|-------|
- 問4 大陸から稲作の技術が伝わったことで、人々の生活や集落の様子は大きく変化しました。この時期の集落において、収穫した食料を管理・保存するために設けられた特徴的な施設として適切な名称を選びなさい。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 高床倉庫 | 2. 前方後円墳 | 3. 環濠集落 | 4. 竪穴住居 |
|---------|----------|---------|---------|
- 問5 紀元前後の日本（倭）が100余りの小国に分かれていた時代、現在の福岡県付近にあった「奴国」の王が使者を派遣し、皇帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授けられたとされる中国の王朝を選びなさい。 (2016年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 唐 | 2. 漢 | 3. 宋 | 4. 元 |
|------|------|------|------|
- 問6 弥生時代から江戸時代までの外交上の主なできごとを整理した記録において、3世紀に邪馬台国の女王である卑弥呼が中国の魏に使いを送り、皇帝から「親魏倭王」の称号を授かった目的や背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 中国の強力な王朝との外交関係を築き、その権威を背景に国内の統治を安定させ、周辺諸国との関係を有利に進めるため。 | 2. 先進的な仏教文化や律令制度を日本に導入し、天皇を中心とした中央集権国家の基盤を早急に固めるため。 | 3. 「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かることで、北九州の奴国を中心とした小国の連合体を統一し、女王の地位を証明するため。 | 4. 朝鮮半島南部での鉄資源の確保を目的として、中国の王朝と軍事同盟を結び、高句麗や百済に対抗するため。 |
|--|---|---|--|
- 問7 弥生時代の集落において、収穫した稲を保存するために造られた「高床倉庫」について、床を高く設計した主な目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 夏の暑さをしのぐために、地面に深い穴を掘って室内の温度を一定に保つため。 | 2. 洪水による浸水を防ぐために、海岸沿いの低湿地に集落の全ての建物を配置する必要があったため。 | 3. 床下の通気性を高めて湿気を防ぐとともに、ネズミなどの害虫が侵入するのを防ぐため。 | 4. 敵からの攻撃をいち早く発見するために、建物全体を物見櫓（ものみやぐら）として活用するため。 |
|---|--|---|--|
- 問8 弥生時代に大陸から稲作とともに伝えられた金属器のうち、強度が非常に高く、主に武器や工具、木製農具の刃先などの実用的な道具として用いられたものはどれですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|-------|---------|
| 1. 磨製石器 | 2. 青銅器 | 3. 鉄器 | 4. 打製石器 |
|---------|--------|-------|---------|
- 問9 弥生時代の社会の変化について述べた文として、当時の集落のあり方や道具の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 集落の周りに堀や柵を巡らせ、薄くて硬い土器や鉄器・青銅器などの金属器を使用した。 | 2. 仏教の伝来とともに巨大な前方後円墳が造られ、集落の形が大きく変化した。 | 3. 竪穴住居が並ぶ大規模な集落が形成されたが、外敵を防ぐための堀などは作られなかった。 | 4. 縄目の文様がある厚手で黒褐色の土器を使用し、主に狩りや採集を行って生活した。 |
|---|--|--|---|
- 問10 稲作の技術が広まったことで、土地や水をめぐる争いが起き、周辺のムラを従えて「クニ」をつくる者が現れた弥生時代の社会において、青銅器はどのような役割を担ったと考えられますか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|--|---|
| 1. 大規模な水田開発を行う際、土を掘り起こすための主要な農具として普及した | 2. 大陸との交易において、日本の特産品として輸出される主要な品目となった | 3. 呪術的な力を持つと信じられ、女性の姿をかたどった土偶とともに魔除けとして埋められた | 4. 王や指導者がその権威を示すため、あるいは祭祀を行うための象徴として用いられた |
|--|---------------------------------------|--|---|
- 問11 弥生時代に大陸から稲作の技術とともに伝わった金属器について、武器や工具として実用的に使われた鉄器に対し、主に豊作を祈る祭りなどの祭祀（儀式）に用いられたものを総称して何といいますか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|-------|-------|
| 1. 磨製石器 | 2. 青銅器 | 3. 鉄器 | 4. 埴輪 |
|---------|--------|-------|-------|
- 問12 古代日本の生活文化について述べた次の文のうち、衣料に関する記述として正しいものを選びなさい。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 古代の日本列島では乾燥した気候を活かした羊の飼育が盛んで、羊毛が主な原料だった。 | 2. 弥生時代には稲作とともに綿の栽培も伝わり、民衆の服の多くは綿製であった。 | 3. 当時の技術では植物繊維を利用することができず、衣服のすべてが動物の皮で作られていた。 | 4. 古墳時代の有力者は、麻のほかには絹を用いた衣服を身につけることもあった。 |
|---|---|---|---|
- 問13 弥生時代に作られた青銅器のうち、釣鐘のような形をしており、表面に流水などの幾何学模様が施されている祭祀の道具を何というか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 銅剣 | 2. 石包丁 | 3. 銅鏡 | 4. 銅鐸 |
|-------|--------|-------|-------|
- 問14 弥生時代の社会における銅鐸の特徴や役割について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2023年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 大陸との交易を円滑に進めるために、重さに応じた価値を持つ貨幣として使われた | 2. 次第に大型化し、表面には当時の生活や自然を反映した装飾が施されるようになった | 3. 鉄器よりも硬度が高いという性質を活かし、木を伐採するための工具として普及した | 4. 各個人の家の中に置かれ、日常的に家族の健康を祈るための仏具として使われた |
|--|---|---|---|